

## 第6学年 外国語学習指導案

日 時 令和元年 10月11日(金) 公開授業②  
児 童 6年1組 男子21名 女子10名 計31名  
場 所 白鳥ホール  
指導者 吉田 貴子

1 単元名 My Summer Vacation 夏休みの思い出 (We Can!② Unit 5)

2 主な言語材料

(1) 基本文

I went to (my grandparents' house). I enjoyed (fishing). I saw (the blue sea),  
I ate (ice cream). It was [fun / exciting / beautiful / delicious].

(2) 語句

grandparent, vacation, shaved ice, 動詞の過去形 (went, ate, saw, enjoyed, was)  
自然 (beach, mountain, lake, river), 動作 (hiking, camping)

[既出] my, it, sea, スポーツ, 果物・野菜, 飲食物, 季節, 動作, 身の回りの物, 状態, 気持ち

3 単元について

(1) 教材について

本単元では、夏休みの思い出を題材としている。過去形の表現が分かり、夏休みに行った場所や食べた物、楽しんだことを伝え合ったりすること、書かれたものを読もうとしたり、話したことを書こうとしたりすることを目指している。夏休みは児童にとって家族や親戚、友達との思い出があり、関心が高い。特に今夏は夏休みの課題として絵日記を書かせたので、記憶が鮮明に残っていると思われる。

夏休みの思い出について伝え合う活動に取り組むことで、過去形の表現にも無理なく親しむことができる。過去形の表現は、この単元で初出であるため、デジタル教材で「聞くこと」や「話すこと」に取り組み、語句や表現に慣れさせていく。また、単元の後半では、音声言語で十分に慣れ親しんだ語句を読んだり書いたりする活動へもつなげていくことができる。

児童が、過去形の表現を知り、言語活動を通して語句や表現に慣れ親しみ、他者に配慮しながら夏休みの思い出を伝え合おうとする上で適した教材と考える。

(2) 児童について

児童は、これまで自己紹介や日本や地域の良さの紹介、他者紹介等を通じて、相手意識をもって伝え合う活動に親しんできた。児童は、コミュニケーション活動をする際に相手意識をもち、ジェスチャーを加えたり表情に気を付けたりしながら交流をしている。また、友達や地域のよさなど、新たな気付きを見つけ、意欲的に学習に取り組んでいる。しかし、思春期に入り、男女でのコミュニケーションに抵抗感をもっていたり、自分から話しかけられなかったりする姿が見られる。そこで、意図的にコミュニケーション活動を入れ、交流することの楽しさや大切さを味わわせていきたい。

書くことに係る活動では、単語と単語の間にスペースを置き、語順を意識して書くことに取り組んできた。単元の後半では、音声言語で十分に慣れ親しんだ語句を書く際に、自分で選択した絵カードをもとにワードリストを見ながら、書き写してきた。また、初出の表現は、主としてなぞり書きで書いてきた。まだ4線を意識して書けなかったり、“b”や“d”など曖昧に記入したりしている児童が見られるので、ワードリストをよく見ながら、「形」「位置」「スペース」を意識して書かせたい。読むことに係る活動では、児童に負担のないように、デジタル教材の音声とともに、ローマ字の読みとの共通点や相違点を確認しながら読む体験を継続して行っている。

### (3) 指導にあたって

本単元の最終活動は、夏休みの思い出について、感想を交えて伝え合うことである。その活動に向けて以下の学習を展開していく。

「出会う」段階では、最終目標を提示し、単元全体の見通しをもたせていく。また、デジタル教材で夏休みの思い出を聞き取らせ、過去形の表現に気付かせる。went を使って、ペアで夏休みに行った場所について聞いたり、言ったりする活動を行っていく。

「慣れる」段階では、過去形の表現の仕方に慣れ親しませるためにデジタル教材やゲーム、チャッツなどを繰り返し聞いたり、言ったりするなどして、音声に十分に慣れさせていく。表現に慣れてきたら、インタビューを通して、夏休みに行った場所や食べた物、その感想などを伝え合う活動を行う。また、夏休みの思い出について、表現例を参考に語順を意識しながら書き写させていく。

「伝える」段階では、夏休みの思い出について学年で交流会を行う。交流する際は、相手意識をもち、聞き手に伝わりやすい話し方を心がけ、既習表現を用いて、会話を広げるようにする。また、友達の夏休みの思い出を聞き、新たな一面を感じたり、もっと知りたいという気持ちを高めたりしていく。

## 4 単元の目標及び評価規準

### (1) 単元の目標

- 夏休みに行った場所や食べた物、楽しんだこと、感想などを聞いたり言ったりすることができる。【知識及び技能】
- 夏休みに行った場所や食べた物、楽しんだこと、感想などについて伝え合う。
- 夏休みの思い出について簡単な語句や基本的な表現を推測しながら読んだり、例を参考に語順を意識しながら書いたりする。【思考力、判断力、表現力等】
- 他者に配慮しながら、夏休みの思い出を第三者について伝え合おうとしている。【学びに向かう力、人間性等】

### (2) 単元の評価規準と評価方法

観 点	内 容	方 法
知識及び技能	・夏休みに行った場所や食べた物、楽しんだこと、感想などを聞いたり言ったりすることができる。	行動観察 自己評価 相互評価 振り返りシートの活用
思考力、判断力、表現力等	・夏休みに行った場所や食べた物、楽しんだことを伝え合っている。 ・夏休みの思い出について語句や基本的な表現を推測しながら読んだり、例を参考に語順を意識しながら紹介する文を書いたりしている。	
主体的に学習に取り組む態度	・他者に配慮しながら、夏休みの思い出について伝え合おうとしている。	

## 5 単元指導計画

(別紙)

## 6 本時の指導 (7/8時間)

### (1) 目標

夏休みに行った場所や食べた物、楽しんだことを伝え合う。【思考力、判断力、表現力等】

### (2) 研究との関わり

本時は単元最終活動「夏休みの思い出を伝えよう」の前時となる。交流会の準備として、友達の夏休みの思い出を聞いたり、聞き手を意識しながら夏休みの思い出を話したりする活動を行う。友達の発表のよさを感じさせ、相手意識をもって話すためにシェアリングタイムを設け、自他のよさや違いに気づき、互いに認め合うことのできる場にしていきたい。

(3) 展開

時程	学習活動	指導者の活動	○指導上の留意点 ◎評価 ◇配慮を要する児童への手立て
導入 8分	<p><b>【Warm-up】</b></p> <p>1 Greetings</p> <p>2 Let's Chant 「Summer Vacation」</p> <p>3 Review ・チェンゲーム</p> <p>4 Small Talk</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>T : How was your summer vacation? S1 : I went to the sea. It was fun. T : How was your summer vacation? S2 : I ate Yakisoba. It was delicious. T : How was your summer vacation? S3 : I enjoyed fishing. It was exciting.</p> </div> <p>5 Today's goal</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0; text-align: center;"> <p>夏休みの思い出を伝え合おう。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・明るく挨拶をする。</li> <li>・発音やリズムに注意しながら行う。</li> <li>・前時で学習した enjoy ~ing を用いて、グループでチェンゲームを行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○元気に明るくあいさつさせ、和やかな雰囲気をつくる。</li> <li>○相手意識をもつようにジェスチャーを入れ、あいさつをする。</li> <li>○できるところはジェスチャーを入れたり、エコーイングしたりしながら発音させる。</li> <li>○児童が夏休みに作成した絵日記から「行った場所」「食べた物」「楽しかったこと」「感想」の表現を確認し、既習学習の振り返りをする。</li> <li>○本単元でのゴールである夏休みの思い出について伝え合うことを確認する。</li> </ul>
展開 30分	<p><b>【Main Activity】</b></p> <p>6 Activity ・デモンストレーションをする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>S : How was your summer vacation? T : I went to the Akyu spa. I ate gyutan. I enjoyed fishing. It was exciting.</p> </div> <p>・「場所」「食べ物」「楽しんだこと」「感想」を伝え合う。 ・シェアリングタイム</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Small Talk で復習したことをまとめて話すことを確認する。</li> <li>・表現に十分に親しんでないものがあつたら、慣れ親しむ活動を取り入れる。</li> <li>・伝え合う活動を通してできるようになったことや友達のよかった点、感想等を共有させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○行動観察をし、表現できない児童には、発音をリードする。</li> <li>◇表現を忘れている児童には、友達や教師に教えてもらうように助言する。</li> <li>◎夏休みの思い出の発表の仕方について話し合っている。(行動観察・相互評価・自己評価)</li> <li>○ペアAが伝え合っている時は、ペアBにその様子を観察させ、シェアリングタイムにつなげる。</li> <li>○よかった点や課題点を確認したり、手本としたい児童を紹介したりしながら、次の活動に生かす。</li> <li>○全体場で共有し、次時の学年交流会につなげる。</li> </ul>
終末 7分	<p><b>【Reflection】</b></p> <p>7 Reflection ・振り返りシート中の「今日の We Can!」を記入する。 ・振り返りシートを使って、自己評価する。</p> <p>8 Greetings</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・語順に気を付けて絵カードを並べ、写し書きさせる。</li> <li>・活動のよかった点を伝える。</li> <li>・終わりの挨拶をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○書くことに抵抗を感じている児童には、ワードリストや教科書の例文を参考にすることを伝える。</li> <li>○観点に沿って振り返らせ、達成感を味わわせる。</li> <li>○次時に向けての課題をもたせる。</li> </ul>

7 板書計画

Today's Goal

夏休みの思い出を伝え合おう。

シェアリングタイム

- \* 友達のこと
- \* 自分のこと
- \* できたこと
- \* 課題

Greetings

絵カード

絵カード

絵カード

Let's Chant

I

enjoyed

hiking

Review

Small Talk

Activity

Reflection